



# めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り  
令和6年 8月号  
ヨハネスブルグ日本人学校

## 2学期がスタート！運動会に向けて練習に取り組んでいます！



今年も、日本では、酷暑の報道が繰り返しなされ、各地で地震や局地的大雨等が多発しています。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

2学期が始まり約2週間が経ちました。子どもたちの元気な声が学校のいたるところで響いています。運動会も、来月9月7日土曜日に迫り、スローガン決めや係ごとの準備などが着実に進んでいます。当日の子供たちの活躍する姿をぜひ、ご覧いただければ幸いです。

さて、今学期は、国際交流の計画も多くあり、2学期は、矢継ぎ早に行事がやってきます。学習と並行して、それぞれの行事を充実したものにすることによって、子供たちは大きく成長していきます。子供たちもそれぞれの担当の準備などで大忙しとなっています。私たち教師側もできる限りの支援を続けながら、子供たちの学びの成果を保護者の皆様にご覧いただけるよう計画的に取り組んでおります。笑顔が満ちあふれる子供たちの学校生活の充実のため、是非、保護者・地域の皆様には、子供たちの身近で応援をしていただければありがたいです。



### 「人生八変化」 自分を変えるには。 文責：渡島 ※お時間おありの時、ご一読ください

「人生八変化」というフレーズがあります。調べてみると、様々なバージョンがあるようです。正確にフレーズの由来が誰の言葉かははっきりしませんが、ヒンズー教の教典にも似たフレーズがありました。

新学期を迎えるにあたり、子供たちは新しい気持ちでスタートに臨んでいます。1学期の振り返りをしっかり行い、さらに一步を踏み出し学校生活をどのように送れば良いのかと考えているでしょう。このフレーズは「自分が変われば～が変わる」という変化を表しています。その始まりである「自分を変えること」は、大人でもなかなか難しいことです。まさに、どのように自分を変えれば良いのかという疑問が生じます。

そんな時には、どの言葉の部分からでもよいと思います。例えば、「言葉（遣い）が変われば」を意識すれば、その後の「態度が変わる」の変化に繋がるでしょう。さらには、「自分」や「相手」など周囲との関係にも変化が表れるはずで、加えて、自分の身の回りをいつも整理整頓するという「習慣が変われば」を少し意識しても少なからず今までと違った変化が見えると思います。とはいえ、私自身も有言実行は難しく、自分に染みついた仕事のやりかたや生活習慣をなかなか変えることができません。仕事を始める前に、頭の中でその日のやるべきこと（スケジュール）をシミュレーションするようにし、机の上や中、手帳やPC等の書類やデータを整理整頓して仕事に取り組みやすい環境を整えました。以前より向上したと思いますが、道未だ半ばといったところでしょうか。

子どもたちは、小さなきっかけをターニングポイントにして、「これ」と決めたことに新たに挑戦することによって、自分自身を大きく変えるものです。自らの能力を高めるとともに、周囲の者とよりよい人間関係を構築することでも人生は大きく変わります。

また、「人生八変化」のフレーズの「〇〇が変われば」を「〇〇を変えれば」に変えてみれば、より積極的に自らの意思よっての「変化」につながることでしょう。

これからの子供たちの変化・成長に期待し、できるかぎり応援します。



**人生八変化**

自分が変われば 相手が変わる  
 相手が変われば 心が変わる  
 心が変われば 言葉が変わる  
 言葉が変われば 態度が変わる  
 態度が変われば 習慣が変わる  
 習慣が変われば 運が変わる  
 運が変われば 人生が変わる

### 祝 開校58周年！ ヨハネスブルグ日本人学校 全校朝会でお祝いをしました。

令和6年8月31日は、ヨハネスブルグ日本人学校の創立記念日を迎えます。以下、本校の歴史を簡単に紹介します。



昭和41年8月31日に開校したJSJは、翌、昭和42年4月に全日制的日本人学校として正式に認められました。昭和50年に、日本国における小中学校の教育課程と同等の教育課程を有する在外教育施設としての認定を受けました。また、南アフリカの私立学校としての登録がなされており、国内における私立学校と同等の扱いを受けています。

